

1926	昭和1. 3.16	政友本党県支部が解散し、高橋光威らが政友会県支部に合流、高鳥順作らは9月22日、再び政友本党を結成する(⑧362)
	3.31	県営の新潟築港工事完成し、6月15日竣工式挙行する(⑧528)
	4.14	新潟地裁新発田支部、木崎争議で地主側勝訴の判決を下す。小作組合、直ちに控訴、昭和5年7月東京控訴院で和解成立する(⑧124・127)
	4.26	三松知事、郡役所廃止にあたり、佐渡のほか上越と魚沼地方に支庁設置を求める答申を内務省に提出する(⑧43)
	5. 2	労働農民党県支部連合会の結党式、新潟市で開催される(⑧375)
	5.18	木崎村農民組合員子弟、同盟休校に入る。9月10日解除する(⑧125)
	7. 1	郡役所を廃止する。佐渡支庁設置(⑧41・43)
	7.25	木崎無産農民学校上棟式。農民デモ隊、警官隊と衝突。三宅正一ら幹部多数検挙される(⑧126)
	7	理化学研究所、三島郡出雲崎町尼瀬にガソリン採取のプラントを設置する。理研の新潟進出の第一歩となる(⑧568)
	9.16	信越窒素肥料直江津工場創設される。操業開始は昭和2年10月(⑦680⑧170)
	10.24	魚沼郡西川口小学校で「川口自由大学」を開講する(⑧82)
	11. 2	新潟信託株式会社、設立認可を受ける。同年12月1日開業(⑦769)
	11.15	全日本無産青年同盟新潟県支部結成される(⑧335)
	11	三島郡王寺川村王番田小作団、全耕地一律5割の小作料減免要求を地主に提出する。王番田争議はじまる(⑧314)
	12.7～13	新潟県農事懇話会、政府の小作法制定の動きに反対、代表を上京させ、陳情を行う(⑧138)
		◇県外出稼ぎ者数、男9万8220人・女8万6110人(⑧269)
1927	昭和2. 1.20	日農県連支部長会議を開催し、労働農民党支持を決定する(⑧130・376)
	1	上越地方に大雪。2月23日中頸城郡寺野村で積雪8.18メートルを記録する(⑧421)
	2.11	県、「林業共同施設補助規程」を制定、民有林の経済開発を奨励する(⑦527)
	2.15	県選出代議士、衆議院本会議で雪害について緊急質問をする(⑧12・421)
	2.15	新潟県花卉球根協会が設立され、チューリップ・ヒヤシンス球根業の発展をはかる(⑧177)
	3.28	日農県連が分裂し、三宅正一らは全日本農民組合新潟県連を設立する(⑧130)
	4.22～23	県下の銀行、金融恐慌の波及を恐れ、臨時休業する(⑧551)
	4.28	藤沼庄平(元内務省警保局長)、新潟県知事となる(⑧361)
	6.24	大河津分水自在堰が陥落、3か月間川汽船の運行が不能となる(⑧528)
	7.13	憲政会新潟県支部・政友本党新潟県支部・上越の大正会の3派が合同し、立憲民政党新潟県支部を結成、結成大会を開く(⑧363)
	7	佐渡郡金沢村で「蚕業夏期大学」が開かれ、各地から300人受講する(⑧301)
	8. 8	婦選獲得同盟新潟支部の発会式、新潟市の商品陳列所で開催される(⑧343)
	8.末	大蔵省検査官来県。県や日本銀行新潟支店と協力し、県内銀行の合同勧奨を行う(⑧555)
	9. 1	憲政会刈羽郡青年会、刈羽民政倶楽部と改称する(⑧363)
	9.25	普通選挙法による初めての県議選実施。政友会25、民政党18、中立2、労働農民党2、日本農民党1人当選する(⑧351・365)
	10. 1	越後鉄道、国有化される。昭和4年11月、鉄道買収をめぐる「越鉄疑獄」が表面化する(⑧248・524)
	11. 1	新潟市で新潟一般労働組合が設立される(⑧84)

	11. 2	村松町に片倉越後製糸株式会社が開業する(⑦719)
	11.15	十日町線(越後川口～十日町間)が全通。昭和4年9月、私鉄飯山鉄道(十日町～豊野間)が開通する(⑧523)
	12.19	「新潟県自作奨励資金貸付規程」が制定され、自作農創設事業が本格的にはじまる(⑧145～146)
		◇県下の県外出稼ぎ人口、19万6223人。県下全農家戸数に匹敵する(⑧10)
		◇高田市に県下最初のデパートとして、いずも屋百貨店開業する(⑧831)
1928	昭和3. 1. 1	新潟商業会議所が、新潟商工会議所に改組設立される(⑧247)
	1.13	中頸城郡和田村下箱井に、全日農下箱井支部結成される(⑧321)
	2.2	普通選挙法による初めての衆議院議員総選挙(第16回)。民政党7, 政友会6, 革新党1, 中立1人当選する(⑧367・377)
	2.28	力石雄一郎(秋田県知事)、新潟県知事となる(⑧352・361)
	3.15	長岡市内の工場連盟として、長岡工業会が創立される(⑧248)
	3.15	3.15事件によって県下で182人が検挙される。4月10日には、労農党・無産青年同盟に解散命令が出る(⑧313・378)
	4. 1	新潟県種鶏場が西蒲原郡巻町に開設され、種鶏共進会を開くなど養鶏奨励にあたる(⑧182)
	4	相馬御風の影響の下に短歌会木陰会がつくられ、短歌集『木陰歌集』を創刊する(⑧506)
	5.25	尾崎勇次郎(愛知県知事)、新潟県知事となる(⑧352・361)
	8.18	日本農民組合と全国農民組合の両県連が合同し、全国農民組合新潟県連合会が結成される(⑧313)
	8.22	柏崎町の北日本製菓で労働争議が起こる(⑧89)
	9. 4	県下25の電気会社が加盟する越佐電気協会、総会で電燈料値下げを決定する。(⑧380)
	11.2	新潟県電気値下期成同盟会、新潟市で発足する(⑧381)
	11.22	理化学興業株式会社第一工場が柏崎町に設立、竣工式を挙げる(⑧569)
	11.23	新潟市で、県庁舎新築に対する県の寄付要請反対の市民大会が開かれる。以後度々開かれるが、同月30日の市会で寄付案が可決される(⑧354)
	11.28	須貝快天、下越農民協会を率いて北日本農民組合を脱退する(⑧313)
	12. 1	村松町で在日本朝鮮労働総同盟新潟県朝鮮労働組合創立大会が開かれる(⑧84)
	12. 3	県会、県道145線改修10か年計画案を可決。翌年から着手する(⑧352)
	12.1	新潟毎日新聞社の労働者24人、待遇改善を求め罷業に入る(⑧90)
	12	阿賀野川水系第1号の大規模ダム式発電所として東信電気鹿瀬発電所が完成。翌年には上流に豊実発電所も完成し、両発電所の出力合計は10万キロワットに達する(⑧537)
		◇新潟県酒造従業員組合連合会が結成される(⑧282)
1929	昭和4. 1.21	新潟県公娼廃止期成同盟会、新潟市で結成。4月29日、新潟赤十字社で発会式を行う(⑧347)
	2	高田に大島機械が設立され、農機具製造を開始する(⑧662)
	3. 1	日本大衆党新潟県連の指導の下に、裏日本青年同盟が結成される。のち、全国労農青年同盟新潟支部に発展する(⑧334・383)
	3. 8	東蒲原郡両鹿瀬村に昭和肥料鹿瀬工場が設立される。操業開始は9月(⑦681 ⑧170・540)
	4.16	4.16事件によって県下で100人以上が検挙される(⑧379)
	4	浅井十三郎、詩集『街に手の行列が』を刊行する(⑧510)
	4	東信電気鹿瀬・豊実水力発電所工事で働く朝鮮人労働者、待遇改善に関する要求書を会社(飛島組)に提出する(⑧779)

	5.15	鍵富船舶部, 不定期北朝鮮航路を定期化, 月1回の新潟～元山～清津航路を開く(⑧529)
	6	五泉織物同業組合, 不況のため, この月1か月間同盟休機。11月・12月にもそれぞれ1か月間実施(⑧559)
	7. 5	三松武夫(元新潟県知事), 新潟県知事となる(⑧354・361・370)
	7	農民詩人長沢祐, 「貧農のうたへる詩」を書き, 『戦旗』9月号に発表する(⑧509)
	8.24	三松知事, 緊縮県政への転換をはかり, 執行中の歳出予算を11.4パーセント削減, この日市町村にも予算の1割を削減するよう訓令する(⑧355)
	8	高田商工会議所発足する(⑧247)
	夏	日本プロレタリア美術家同盟(ヤップ)新潟支部結成される(⑧339)
	9. 1	中田みずほらが中心となり, 俳句会真萩会を結成, 俳句誌『まはぎ』を創刊する(⑧508)
	9. 9	公私経済緊縮に関する知事の諭告が出される。以後, 県および市町村に公私経済緊縮委員会が設置される(⑧355)
	9.17	県庁舎新築工事計画を変更。建設場所を商品陳列所所在地(学校町通1番町)とし, 設計を一部改める(⑧356)
	9.18	政友会県支部大会。三松知事排斥を決議する(⑧357・371)
	9.23	廃娼請願デー。長岡市では街頭で署名運動を行う(⑧347)
	9	県, 市町村長に「新潟県教化団体連合会会則」を示し, 下部団体を組織し, 加盟するよう通達する(⑧471)
	10. 7	無産13団体が結集し, 長岡市で車税撤廃期成同盟協議会を結成。以後, 県下各地で車税反対の演説会が開かれる(⑧381・383)
	10.2	朝鮮労働総同盟新潟県連合会青海町支部設立総会が開かれる。糸魚川警察署, 解散を命じ, 5人を検束する(⑧778)
	10.24	アメリカで株式市況大暴落。以後, 世界恐慌ひろがる
	11. 7	社会民衆党県支部の結成式が行われる(⑧384)
	11.16	三松知事, 県会に前年度予算を16パーセント削減した予算案を提示する(⑧357)
	12. 3	新潟県農事懇話会, 新潟県農政協会に改組される(⑧137)
	12.1	旧労農党系の人々を中心に, 全農左派を背景として労農党県支部が発足する(⑧384)
	12.14	県会, 「公娼制度廃止ニ関スル決議案」を可決する(⑧348)
1930	昭和5. 2.15	市川房枝・久布白落実ら, 柏崎で行われた革正講演会で講演, 婦選と選挙革正を訴える(⑧344)
	2.2	第17回衆議院議員総選挙。民政党9, 政友会5, 革新党1人当選する(⑧371)
	3.3	県庁舎建設工事着工する(⑧356)
	4. 2	三島郡王寺川村王番田の小作争議が激化。小作人ら地主近藤正次宅などを襲撃し, 流血の惨事となる(⑧316)
	6. 6	中蒲原郡石山村第三小学校訓導山本吾一を中心に, 15人の小学校教師が, 新潟県教育者労働組合(本県最初の教員組合)を結成する。翌日参加者全員検挙される(⑧480)
	6. 7	県下電気料金値下期成同盟会発会式を行う。以後, 第二次電燈料値下げ運動起こる(⑧382)
	6.16	北越新報社の労働者145人が争議団を結成, 賃上げなどを要求して争議に突入。8月1日に終結する(⑧330)
	7.13	柏崎町諏訪町公会堂で, 婦選獲得同盟刈羽支部の発会式が挙行される(⑧345)
	7.16	見附織物業界, 不況に見舞われ, 生絹以外の製造業者が10日間の同盟休機に入る。生絹製造業者も翌8月に1か月間実施する(⑧559)
	8. 9	中蒲原郡大蒲原村の小作争議が激化, 小作人と警官隊が衝突, 多数の負傷者が出る(⑧319)
	8.15	北蒲原郡水原郷に北越無産青年同盟結成される(⑧335)

	8.17	新潟能楽会舞台開記念演能会が新潟高等女学校で開かれる。また、11月2日には弥彦村弥彦軒で県下宝生流の奉納額謡曲会が催される(⑧491)
	8.26	黒崎真也(山口県知事)、新潟県知事となる(⑧359・361)
	8	新潟県産のスイカ、初めて鉄道を利用して札幌・小樽まで出荷される(⑧176)
	10. 2	政府、米の予想収穫高発表。新潟県史上空前の大豊作、低米価による農村不況が深刻化する(⑧264)
	10.15	中頸城郡和田村で、差押米の競売をめぐって小作人と地主側との間で乱闘事件発生。以後、長期にわたり争議が激化する(⑧322)
	10	国勢調査による県内失業者数5445人。全国15位(⑧328)
	10	北蒲原郡町村長会、昭和6年4月から教員給与の1割～1.5割減俸を申し合わせる。県、これを認めず(⑧465)
	11.22	王寺川村王番田の第2次争議、和解協定が成立し、終息に向かう(⑧317)
	12.3～11	高田警察署、和田村争議団組合長以下43人の団員を検挙する(⑧324)
	12.29～31	電気化学青海工場職工吉川繁次郎ら5人、工場爆破を企画したとの名目で逮捕される(⑧329)
	12	県会、県職員費の1割削減と道路改修10か年計画の廃棄を可決する(⑧359)
		◇県人の海外移住者数、合計8732人となる(⑧271)
1931	昭和6. 1.21	新潟高等学校で、処分生徒の復校、自治権の承認などを要求する同盟休校が起こる。6月にも再度同盟休校に入る(⑧336)
	2～3.	新潟県農政協会伊藤太郎兵衛ら上京、政府の小作法案に反対し国会議員66人に陳情運動を展開する(⑧140)
	3.2	県、「繭検定規定」・「同手数料条例」を定め、繭検定を開始する(⑧298～299)
	6.12	知事、低落する繭糸価格維持のため、蚕飼育量を3割以上制限するよう市町村長に訓令する(⑧299)
	6.21	佐渡地区無産青年同盟が創立される(⑧335)
	6.23	和田村で上越農民学校開校式を行う(⑧323)
	7. 5	社民・労農・大衆の無産三党の合同が成立し、労農大衆党県連合会が発足する(⑧385)
	7.25	新潟県プロレタリア文化闘争同盟(文闘)結成される(⑧338)
	7.31	高田運輸株式会社の労働者20人、高田合同労働組合を結成する。この日、強制休日廃止・賃下げ阻止などの要求をかけた、ストライキに突入する。8月2日解決する(⑧331)
	8. 5	全農左派と日本労働組合全国協議会新潟支部が弾圧を受け、約70人検挙される(⑧327)
	8.14	全農新潟県連、総本部派と全会派に分裂する(⑧320)
	8.21	上越線全線開通記念博覧会、長岡市で9月30日まで開催される(⑧527)
	8.26	婦選獲得同盟新潟・刈羽両支部共催による大講演会、長岡市で開催される(⑧345)
	8.28	北蒲原郡中条町で、下越農民組合の系列下に下越青年協会が結成される(⑧335)
	8.3	長岡市で新発田連隊区在郷将校団総会が開催され、鈴木莊六大将・建川美次少将が講演。以後、県下に国防思想普及運動が広まる(⑧407)
	9. 1	清水トンネルの貫通により上越線が全線開通する(⑧525)
	9.18	柳条湖事件勃発、満州事変起こる。在満中の新発田第16連隊・高田第30連隊、軍事作戦に参加する(⑧407)
	9.25	県会議員選挙。民政党31、政友党16、全国労農大衆党1、中立1人当選する(⑧360・372)

	9.28	在郷軍人会高田支部，興国会を結成。以後，国防講演会などを開催する。また，10月8日には高田市に満蒙權益擁護促進会が発足。新発田町でも10月14日に同様の組織が結成される(⑧408)
	10. 2	中野邦一(岡山県知事)，新潟県知事となる(⑧360・361)
	10.24	新発田中学校教員高橋秀山，第2回全日本柔道選手権大会で優勝する。同年，第11回全国中学校柔道大会で新発田中学校が団体優勝を飾る(⑧514)
	10.下	愛国婦人会新潟県支部，満州警備中の郷土部隊将兵に慰問袋を贈る(⑧409)
	11. 3	新潟市白山神社で，満蒙權益擁護市民大会開催。同月12日には，長岡市平潟神社でも駐満軍武運長久市民祈願祭並びに国権擁護市民大会開催。23日，高田市でも，駐満軍慰問大会を開催する(⑧410)
	11.11	新潟放送局の開局記念式が行われる。放送局は新潟市旭町に設置，呼出し符号はJOQK，電力は0.5キロワット(⑧487)
	11.15	県知事を会長として新潟県満州事変軍人援護会設立される(⑧410)
	11.15	高田市で上越文学者連盟が結成され，翌年2月には機関誌「上越文芸年鑑」を発行する(⑧512)
	11.21	北蒲原郡水産会，阿賀野川筋の東信電気と昭和肥料の操業により魚類が減少したとして，県に魚道改善・鉅毒流出防止策を要請する(⑧191)
	11.末	日本プロレタリア作家同盟(ナルプ)新潟支部結成される(⑧339・511)
	11	佐渡郡羽茂町でおけさ柿(平無核・俗称八珍柿)を初めて栽植(高接更新)する(⑧177)
	12. 1	経済市況(「地方物価」の呼称)のラジオ放送を開始する。翌年1月4日からは，新潟・長岡米穀市況の放送もはじまる(⑧488)
	12.11	新発田第16連隊・高田第30連隊の留守隊から，補充部隊が満州に出発する(⑧412)
	12.18	小幡豊治(元愛知県知事)，新潟県知事となる(⑧361・372)
	12	信越窒素肥料直江津工場，不況のため全従業員を解雇する(⑧541)
		◇新潟県農事試験場技師並河成資ら，稲の新品種「農林一号」を完成，以後，県下全域で作付面積が増加する(⑧166)
1932	昭和7. 1. 8	県内の共産党系の活動家50余人が検挙される(⑧385)
	2.21	第18回衆議院議員総選挙。政友会10，民政党4，革新党1人当選する(⑧372)
	3.27	新発田小学校の小林昴らが中心となり，新潟県教育労働者組合が結成される(⑧481)
	4.1～3	県男女青年団，高田・弥彦・新発田で国威発揚青年大会を挙げる(⑧410)
	4.10～11	長岡市の愛国飛行機献納運動により陸軍に献納された愛国第11号(長岡市民号)の命名式と記念飛行が実施される。9・10月には新潟県民号など4機が献納される(⑧412)
	4.2	佐渡商船と新潟汽船，越佐商船の三社が合同し，佐渡汽船株式会社が発足する(⑧532)
	4	新潟商業学校に満州語科を設置，翌年4月長岡商業学校・柏崎商業学校にも同科を設置する(⑧741)
	5. 2	政友会県支部内の改造派と非改造派の対立激化。非改造派が独自に支部長を選任，改造派もこれに対抗する(⑧373)
	6.13	教員人事をめぐる贈収賄事件(教育疑獄)表面化する(⑧469・479)
	6.28	千葉了(広島県知事)，新潟県知事となる(⑧398)
	6	三島郡西越小学校長布川準一郎，心耕学園をつくり，児童の自主性を重んじる教育運動を展開する(⑧477)
	7	長岡商工会議所，「中小商工業者救済ニ関スル建議」を県に提出する(⑧542)

	8	県内大地主が出資して株式会社愛隣社設立。北朝鮮における植林事業を開始する(⑧808)
	9. 1	千葉知事, 教育界の刷新につき訓令する(⑧470)
	9.12	千葉知事, 臨時県会を招集。土木事業中心の時局匡救予算を提案, 景気回復をはかる(⑧398・427・543)
	9.21	県庁舎落成式を挙げる(⑧356)
	12.16	県経済更正委員会が設置され, 経済更正計画が開始される(⑧433)
	12.22	新潟交響楽団の第1回公演が開かれる(⑧491)
	12	長沢佑, 全日本プロレタリア作家同盟新潟支部の書記長となり, 機関紙『旗風』を創刊する(⑧510)
	12	長岡商工会議所, 県選出国會議員に「購買組合の特典廃止及取締励行」の依頼状を出し, 本格的な反産業組合運動を開始する(⑧549)
1933	昭和8. 1. 6	郷土部隊, 満州から帰還。7日, 新潟市で戦死者慰霊祭が行われる(⑧414)
	4.2	中頸城郡和田村の小作争議, 和解成立する(⑧326)
	5	北魚沼郡銀山平に新潟県青年講習所が設立され, 勤労による思想善導とともに拓殖移民の養成がはかられる(⑧474・742)
	6.18	県, 「乾繭共同保管奨励要項」を定め, 1か月以上乾繭を保管した養蚕実行組合への助成金交付を決める(⑧298)
	7. 1	中蒲原郡五泉町で, 日本無産者医療同盟新潟支部の結成大会が開催される。8月10日から南部診療所開設される(⑧341)
	8.15	県庁前～燕間を結ぶ新潟電鉄が全通する(⑧528)
	10.16	阿賀野川改修工事が完了する(⑧157)
	11.2	新潟新聞, 県内欠食児童数を7031人と報じる(⑧400)
	11.24	新潟商工会議所内に全日本商権擁護連盟新潟県支部(52団体212人参加)が結成される(⑧549)
	12.16	佐藤佐藤治・風間一夫ら葛塚医療同盟を創設。翌年11月16日から診療を開始する(⑧341)
1934	昭和9. 1.10	県農業試験場園芸部, 北蒲原郡京ヶ瀬村から中蒲原郡新津町七日町に移転, 果樹関係の試験研究を強化する(⑧177)
	2	北蒲原郡笹岡村で地主から小作契約解除通告を受けた小作人側, 全農須走支部を結成。須走争議はじまる(⑧458)
	3.12	見附輸出絹入絹織物工業組合が結成される(県下最初の人絹織物工業組合)。昭和10年12月加茂で, 昭和12年8月には高田市を中心に組合の結成をみる(⑧566)
	3.21	全農全会派の伊藤孝四郎ほか34人検挙される。全会派県連ほぼ壊滅する(⑧327)
	3	理研ピストリング柏崎工場設立される(⑧571)
	4. 1	三条町, 市制を施行する(⑦544)
	4. 1	工場誘致を促進のため, 県が工場課税特免条例を, 新潟市が課税特免条例を施行する(⑧659)
	4. 5	全日本商権擁護連盟新潟県支部大会, 新潟・長岡・高田で開かれ, 「商権擁護ニ関スル宣言」を出す(⑧549)
	5.22	臨時県会, 雪害緊急対策を審議, 「雪害復興ニ関スル意見書」を内閣総理・大蔵・農林・文部各大臣に上申する(⑧423)
	5.25	北陸4県雪害対策連盟が設立され, 関係各省への陳情活動を展開する(⑧423)
	6. 5	西頸城郡小滝村姫六発電所で, 朝鮮人を含む土工400人が賃上げを要求してストライキ。36人が検挙される(⑧780)
	6.27	千葉知事, 新潟県臨時財政調査会を設置, 県財政再建について調査研究にあたらせる。10月30日答申案提出(⑧403)
	6	教員の講習を目的とする新潟県国民精神文化講習所が設置される。昭和10年1月日本精神の体得をめざし, 県下3師範学校に修養道場が設けられる(⑧474)

	7. 1	全農全会派県連解消，組合名を再び北日本農民組合とする(⑧327・629)
	8.27	県警察部，上中越13警察署を動員し，粃貯蔵に関する助成金の不正受給について産業組合の捜査を開始する(空粃貯蔵事件)(⑧404)
	9.12	小林存，民間伝承文化の研究会として高志路を結成。翌10年1月から月刊誌『高志路』を発刊する(⑧494)
	9	新潟県臨時教育調査会が設置される(⑧468)
	9	新潟県教育関係思想問題研究会が開かれる(⑧472)
	10	日本海貿易株式会社設立，満州牡丹江を中心に各種商品販売等を行う(⑧808)
	12.26	県特高課，新潟県農村問題対策懇談会を設置する。会長は県警察部長(⑧311・452)
	12	高田中学校の国語教師境学，「高中短歌会」を結成。翌年には「高中校報」を発行するなど，文芸復興運動を行う(⑧476)
1935	昭和10. 1.15	新潟県農村問題対策懇談会の第1回定例会議開催。以後，定期的に開かれ，ロール摺問題，検見の問題などを協議する(⑧453)
	1.15	宮脇梅吉(岐阜県知事)，新潟県知事となる[新潟県議会史]
	2.18	中頸城郡新井町，大日本セルロイド新井工場の誘致を決定。9月建設に着手，昭和11年操業を開始する(⑧542)
	2.26	五泉町の医療同盟新潟支部が日本無産者医療同盟と改称。のち，さらに中蒲南部郷医療組合と改める(⑧342)
	3	全日本商権擁護連盟支部，「産業組合偏重政策ヲ是正シ全産業政策ノ調整確立ニ関スル要望」を決議する(⑧550)
	5	新潟市の早山製油所，早山石油株式会社に改組する(⑧663)
	6. 4	新潟医大生ら，劇団新潟を創設。11月にイタリア軒で第1回公演を行う(⑧340・493)
	6.15	北蒲原郡笹岡村大字須走争議の調停開始。特高当局と県農政協会が調停斡旋を実施する(⑧458)
	6.28	第1回県選挙粛正委員会開催。7月以後県下各地に選挙粛正講演会が開かれる(⑧442)
	7. 7	全日本商権擁護連盟県支部中越分会が結成される(⑧550)
	8	高田師範学校焼失を機に，新潟師範学校との統一論議が盛んとなる(⑧470)
	9. 5	長岡商工青年連盟結成，商権擁護活動を行う(⑧550)
	9.25	県会議員選挙。政友会23，民政党22，無産政党2，中立2人当選する(⑧443)
	10. 1	理研ピストンリング柿崎工場設立。この前年に自根，また昭和12年に宮内，小千谷にも理研関連の各種会社・工場があいついで設立される(⑧542・574)
	10.末	新潟県内の労働者組織状況，13組合・組合員数3218人，うち女子505人(⑧330)
	10	日本鋼管株式会社，新潟市に新潟電気製鉄所を開設する(⑧660)
		◇県外出稼ぎ者数，男7万2021人・女6万4035人(⑧270)
		◇長岡市，「工業立市」を市是とする都市計画を立て，工場誘致をはかる。昭和12年以降日本繊維工業，大阪機械製作所，津上安宅製作所，日本重工業等の進出があいつぐ(⑧661)